

直近10年（H22～R1）をみると、

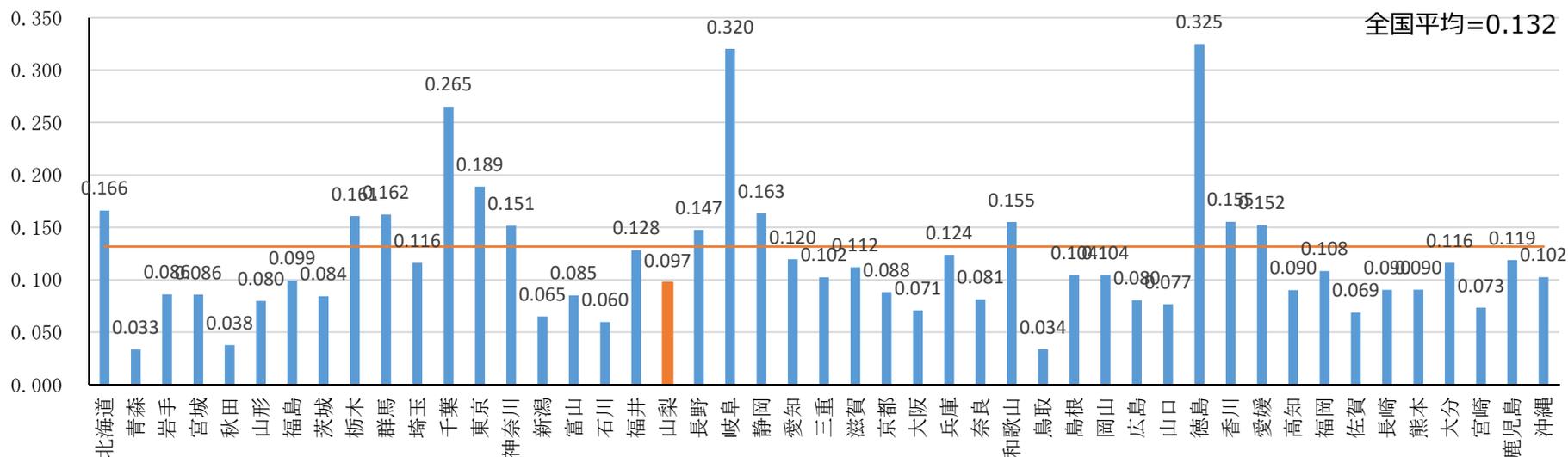
- 警察官通報件数（人口千人当たり）は、全国平均を下回っている。（図1）
- 通報件数に占める診察件数の割合（措置診察実施率）は、全国平均を上回っている。（図2）
- その結果、人口千人当たりの診察件数は、全国平均を上回っている。（図3）
- 診察件数のうち、措置入院となった割合は、全国平均を下回っている。（図4）
- その結果、人口千人当たりの警察官通報による措置入院患者数は、全国平均を下回っている。（図5）

⇒ 人口千人当たりで全国平均と比べると通報件数は少ないものの、診察件数は多い。

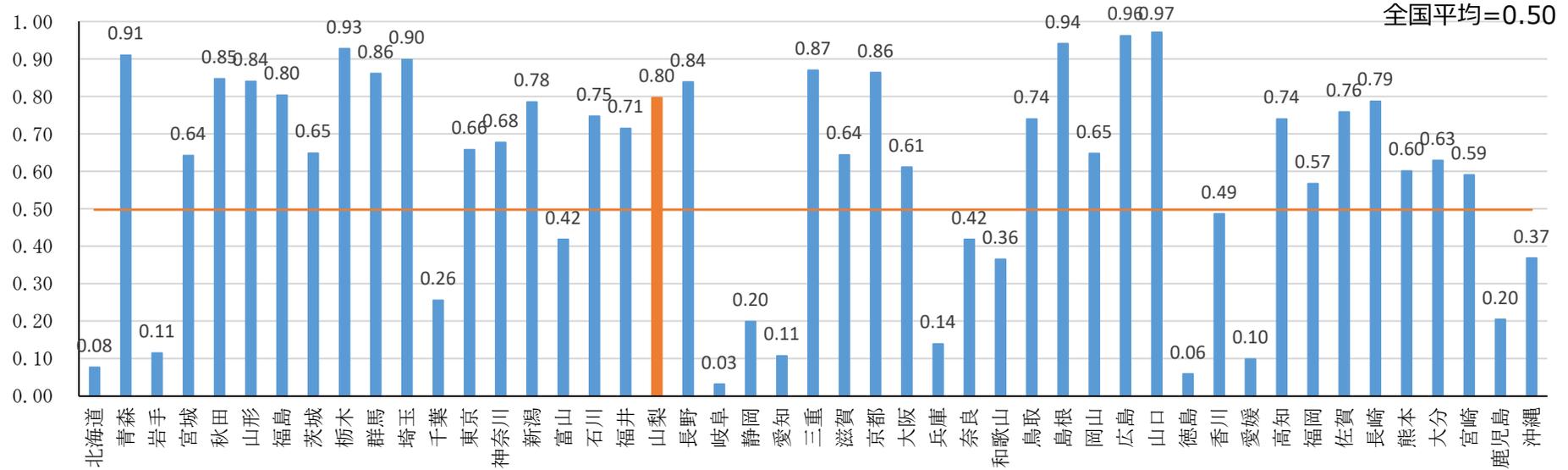
⇒ 保健所は、全国平均以上に診察対象としているが、診察の結果、措置とならない人が多い。

⇒ 直近20年の推移をみると、同様の傾向がみられる。（図6）

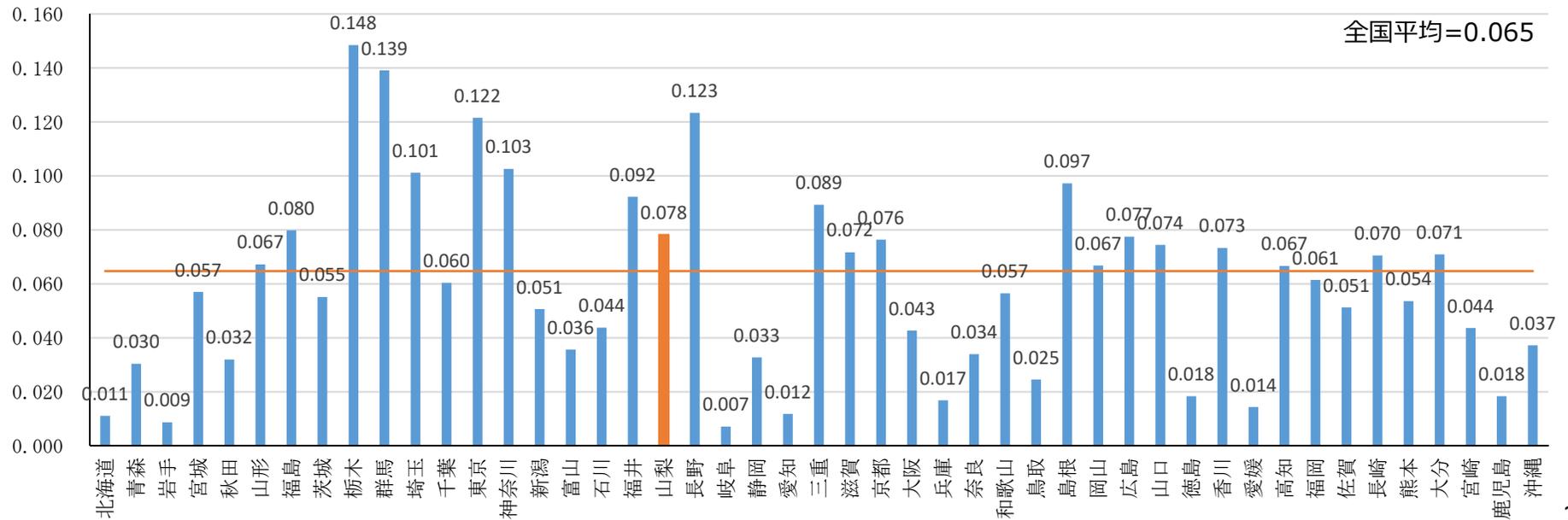
(図1) 警察官通報件数（人口千人当たり） H22～H31



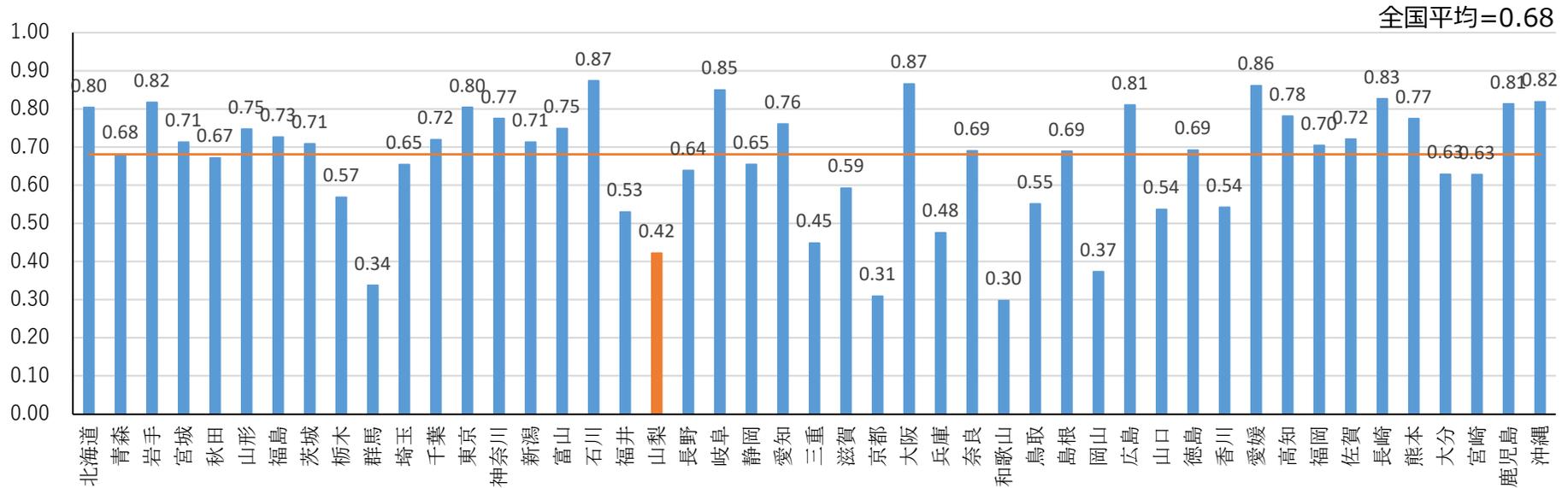
(図2) 警察官通報件数に占める診察件数の割合 H22～H31



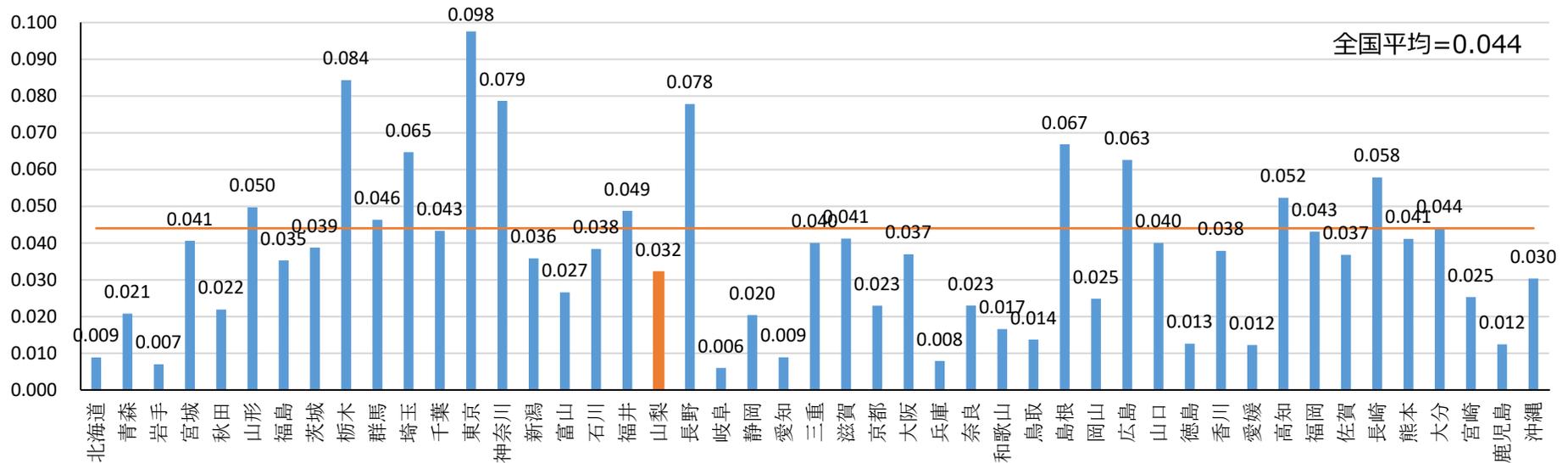
(図3) 警察官通報に係る診察件数 (人口千人当たり) H22～H31



(図4) 警察官通報に係る診察件数に占める措置入院件数の割合 H22～H31

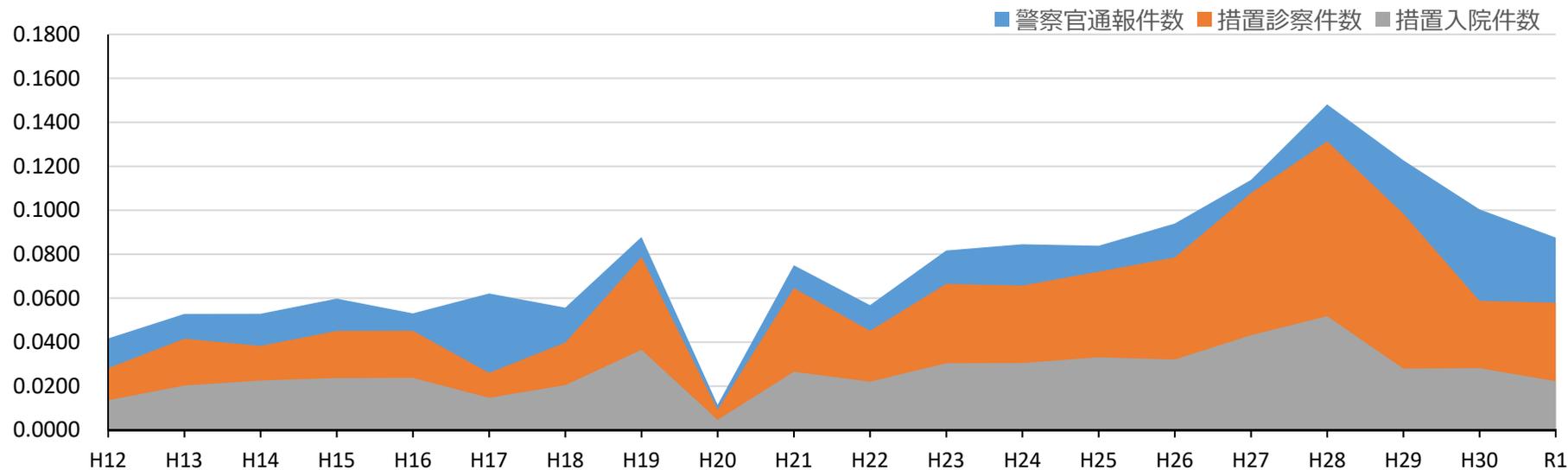


(図5) 警察官通報による措置入院患者数（人口千人当たり） H22～H31



(図6) 警察官通報件数、診察件数、措置件数の推移 (人口千人当たり)

山梨県



全 国

